

# 新・奥の細道

一周ルート

⑩

縁結びのみち

En-musubi-no-miti



山形県

# GUIDE

みどころ案内

猿羽根山峠は、旧羽州街道の要所でしたが、現在は、猿羽根山公園となっています。四季折々にそれぞれの花が咲き乱れ、また、遊園地、農業体験実習館、歴史民俗資料館などが整備されている風光明媚なところです。山の頂上には猿羽根地蔵尊が祀られています。縁結び、子宝、延命の地蔵尊として信仰が厚く、民謡新庄節にも「一度まいれば二度かなう」と唄われ、日本三大地蔵の一つとされています。この道は、舟形駅から大平山、スキー場を経て園内に入る遊歩道と、また、国道13号の尾花沢側から登る遊歩道はそれぞれ猿羽根山地蔵尊に通ずるハイキングコースとなっており、四季折々に移り変わる里山の自然の営みを観察することができ、また舟形町の歴史を楽しまれることのできる遊歩道です。

## 太平山

Taiheizan

太平山には、東屋が設けられ、遠方に出羽富士鳥海山を眺め、眼下に縄文土偶が出土した西ノ前遺跡を眺めることができます。遊歩道周辺には四季折々に移り変わる自然の営みの中で山野草や野鳥・雑木林の観察、山菜・きのこなどを採取したりすることができます。



大平山展望台

## 猿羽根山公園

Sabaneyama-koen

かつて猿羽根山峠は、羽州街道の要所であったが現在はふもとにトンネルもでき公園になっています。入口は猿羽山トンネルの北側のわきにある大鳥居をくぐって登って行くと広い駐車場があり向かいに歴史民俗資料館、その左手の奥まった所に農業体験実習館があります。

駐車場の休憩所の右手を登ると旧羽州街道の道にでます。その途中の石段を登り終ると猿羽根山地蔵尊があります。この地蔵尊は子宝、縁結び、延命の地蔵尊としても人々の信仰を集め、民謡新庄節にも「一度まいれば二度かなう」と唄われるほど有名で、日本三大地蔵の一つとされています。

境内には、相撲場もあり、祭礼の時(8月24日)には県内各地から力自慢の力士と児童が参加する奉納花相撲大会が開催され大勢の行楽者が訪れます。

また、斎藤茂吉の「もみじ葉のすがれに向ふ頃ほひに さばね越えむとおもふ楽しさ」と刻まれた歌碑が地蔵尊表参道の入口左手に建てられています。ここは紅葉の隠れた名所であったことがわかります。

この丘から赤い橋を渡った所に展望台がある猿羽根山遊園地があります。展望台は公園の一番見晴らしの良いところにあり、眼下に日本三大急流で山形県の母なる最上川を眺め、



猿羽根山公園展望台

東に神室山、西に葉山、月山、南に御所山と尾花沢地方の田園風景が広がり、北には出羽富士鳥海山と舟形町内が一望でき、四季折々に変化する大自然のパノラマを楽しむことができます。展望台を1周するミニ新幹線やゴーカートなどがあり、日曜祭日などは子供連れの行楽客で賑わっています。

## 農業体験実習館

Nogyo-taikenshushukan

猿羽根山公園内にあり山形県の自然体験実習館の指定を受けた宿泊施設です。地域の人々だけでなく、ふれあい農園、山菜園、小動物に触れるなどの農業体験、「縁結びのみち」を散策する自然体験を通して町と都市生活者の交流を深める拠点施設として活用されています。また、この施設には世界で初めての地球環境に配慮した雪エネルギー活用の雪冷房システムが導入されています。

◆お問合せ/農業体験実習館 ☎0233-32-3450



農業体験実習館

## 歴史民俗資料館

Rekisi-minzoku-siryokan

猿羽根山公園内にある施設で、建築されて100年以上の農家建造物を移築したものです。この資料館には、この地方の歴史を物語る古い農漁業機具などが展示されています。

隣の白い建物が受付で、ここに日本最大の土偶が展示されています。小国川の川岸に近い標高71mの西ノ前遺跡から平成4年に堅穴住居跡や土器、石器などの出土の中から発見されたもので、縄文時代の大集落があったところとされています。土偶は破損状態で出土し、資料館にはそのレプリカが展示されています。高さ45cmで、これまで日本で発見された中では最大の土偶です。足が長く八頭身美人のスタイルをしていることから「縄文の女神」とも呼ばれています。



歴史民俗資料館



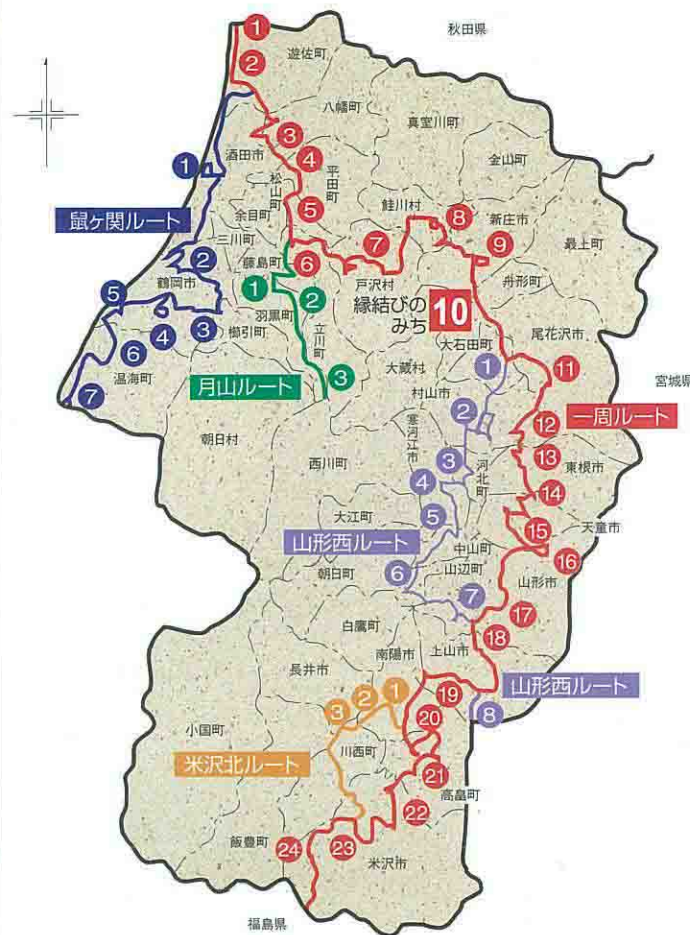
日本最大の土偶

### ◎利用案内

- ◆開館/AM10:00~PM4:30
- ◆休館日/火曜日、祝日の翌日
- ◆入館料/大人110円・学生60円・小人40円
- ◆お問合せ/歴史民俗資料館 ☎0233-32-3495

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## 周辺のアクセスガイド

- 舟形駅までは  
JR山形駅から舟形駅まで6分
- JR新庄駅から舟形駅まで10分
- 山形市から車で60分
- 毒沢までは  
山形市から車で55分



観光のお問合せ 舟形町役場企画課 ☎0233-32-2111  
〒999-46 舟形町舟形236

尾花沢市役所商工観光課 ☎0237-22-1111  
〒999-42 尾花沢市大字尾花沢2861

交通のお問合せ JR舟形駅 ☎0233-32-3302  
〒999-46 舟形町舟形391-2

コースのお問合せ 舟形町役場企画課 ☎0233-32-2111  
〒999-46 舟形町舟形263

尾花沢市役所商工観光課 ☎0237-22-1111  
〒999-42 尾花沢市大字尾花沢2861

山形県環境保護課 ☎0236-30-2206  
〒990-70 山形市松波2-8-1

表紙の写真は猿羽根山の雑木林のトンネル

## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをお合わせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。